

日本発ドイツ便り：ドイツの新聞

ドイツの新聞（Zeitung:ツァイトゥング）には大きく3つのカテゴリーがあります。全国的に読まれている、「高級紙」とされるもの（Frankfurter Allgemeine とか Züddeutsche Zeitung など）とタブロイド版の「大衆紙」、そして「地方紙」です。ドイツでは、全国紙よりも地方紙を読む家庭が多いので、地方紙の需要が高く、地域ごとにたくさん新聞があります。発行部数が「高級紙」2誌で大体80万部くらい。「大衆紙」最大のBILD（ビルト）だけでも発行部数がなんと380万部（これはどちらも2006年のデータです。）

そのBILD誌に関して、先日びっくりのニュースがありました。2012年3月9日のニュースを簡単にまとめると、

「ドイツの大衆紙BILDは、28年間にわたって続けてきた1面での女性ヌード写真の掲載をやめると発表した。」

というものです。

何がびっくりかと言うと、「新聞1面のヌード写真が載っている?!」のところではなく、ニュースの通り、「女性ヌード写真の掲載をやめる」というところにビックリしました。

私だけびっくりしたわけではなくて、ドイツでもその日の重大ニュースになっていましたので、ドイツ人もビックリだったと思います。☺

ドイツの大衆紙の1面には必ず女性のヌード写真が載っていたのです。

初めてドイツの語学学校に通ったとき、授業の中で色々なプロジェクトがあって、新聞なんかを買いにいったりするのですが、まあビックリしました。が、それが伝統らしいということで、だんだん慣れてくると、新聞を見ては「ああドイツだなあ」と思うわけです。

売店や本屋さんでは、通常、半分に畳まれた状態で売られているので、見えないのですが、



これが、2012年3月9日の「大宣言」の紙面の画像¹です。

BILD schafft Seite-1-Girl ab

開いてビックリ。です。

¹画像は <http://www.spiegel.de/kultur/gesellschaft/bild-820310-325971.html> より。



まず、ドイツの新聞の名前の記載の仕方（政治家とか、芸能人やスポーツ選手など、一般的に名前を知られた人は別として）は、基本的に、ファーストネーム＋ファミリーネームは頭文字のみ、そして居住地の地名だけです。なので、例えば、Anna S. aus Frankfurt（フランクフルトのAnna S.さん）とか Maximilian G. aus Berlin とか。これは容疑者に対してもこの表記の仕方になります。

ヌード写真と一緒に、簡単なインタビューなんか載っていて、名前と出身地、応募した理由、この写真を見て驚くのは誰？とか、そんな感じです。たまに「職場の人は驚くと思う」とか、そんな回答もあっていちいちビックリするのですが、ドイツって、性に関してはかなり寛容だと思います。（掲載されているのは、みんな自分で応募した人です。）

まあそんなビックリのニュースですが、ちゃんとオチはあって、3月10日からは1面→3面に移動したそうです。BILD 以外の大衆紙も似たような感じだったので、他の大衆紙への影響はどうなんだろう？

大衆紙はイメージとしては、日本のスポーツ新聞。写真が多くて、スポーツとかゴシップ記事も多いです。もちろん普通のニュースも載っていますが、記事の書き方がなんだかワイドショーっぽいんです。「トルコが



EUに加入したら、3ユーロのコインが発行されて、Döner Euro と呼ばれるだろう。」（ドイツでも人気のトルコの Döner Kebab：ドネルケバブが大体3ユーロだから）なんてお馬鹿なニュースがいっぱい載っているのも、この大衆紙です。（なのでつい読んでしまいます）

これは町中のBILDの販売機。駅とかバス停とかにあることが多いです。お金を入れると（中にはお釣りが出ないものもあります。）ロックが外れて、ふたを開けて新聞を自分で取り出して、ふたを閉めるとロックがかかる。という仕組みになっています。ということは、その気になれば(?) 2部でも3部でも取り出すことはできるのですが、そこはキリスト教の国。いつでも上から神様が見ているので、まあそんなセコイことする人はあんまりいません。（駅に改札がないのも、同じような理由でしょうね。ちゃんと規則化された規則はしっかり守るのも、これまたドイツ人です。）

ドイツに行かれたら、是非新聞もチェックしてみてください！（眺めるだけなら、大衆紙の方が面白いです）